



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 スタンレー電気株式会社
 コード番号 6923 URL <http://www.stanley.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 隆典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長 (氏名) 赤松 知範

TEL 03(6866)2222

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	327,150	15.2	38,139	32.3	41,177	33.2	25,285	32.7
29年3月期第3四半期	283,879	△8.0	28,838	8.9	30,906	13.3	19,060	10.9

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 42,838百万円 (42.8%) 29年3月期第3四半期 30,006百万円 (176.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	153.10	152.89
29年3月期第3四半期	114.64	114.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	499,802	380,331	69.0
29年3月期	458,042	348,240	69.2

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 344,741百万円 29年3月期 316,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
30年3月期	—	21.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	10.7	52,000	22.9	57,000	24.7	35,500	23.8	215.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	176,000,000 株	29年3月期	176,700,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	11,183,688 株	29年3月期	11,126,730 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	165,150,911 株	29年3月期3Q	166,261,879 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信【添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続きました。

世界経済は、米国、欧州では緩やかに回復、アジアでは総じて安定した成長が続き、中国では持ち直しの動きが続きました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）では、グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、及び受注拡大を目指した営業力強化や生産能力の増強、そして生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上等を着実に実行しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は3,271億5千万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は381億3千9百万円（前年同期比32.3%増）、経常利益は411億7千7百万円（前年同期比33.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は252億8千5百万円（前年同期比32.7%増）と増収増益になりました。

② セグメント情報の概況

1) 自動車機器事業

世界の自動車生産台数は、米州で微減、中国で横ばい、欧州、アジアで微増、日本で増加となり、全体として微増となりました。二輪車生産台数では、米州、欧州で減少となったものの、日本、アジア、中国で増加となり、全体として増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、当社が光源から一貫して製造しているLEDヘッドランプが増加したことで増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は2,655億4千5百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益は223億7千7百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメントが関連するLED照明市場、情報通信市場は増加、車載市場は微増となったものの、遊技市場、AV市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業（LED、液晶等）は、LEDヘッドランプ用や車載インテリア用のLEDが増加し、増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は226億4千7百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は66億9千2百万円（前年同期比50.4%増）となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメントが関連するLED照明市場は増加、車載インテリア市場は微増、OA市場は横ばいとなったものの、AV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業（LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル等）は、OAパネルが減少したものの、LED灯体の光源や制御等に用いる電子基板に加え、PC用バックライト、ストロボ等が増加し増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は388億6千6百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は65億2千万円（前年同期比38.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,998億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ417億5千9百万円増加しております。主な要因は、流動資産が266億3百万円及び固定資産が151億5千5百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、現金及び預金が増加したこと及び受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、投資有価証券が増加したこと及び有形固定資産が増加したこと等によるものです。

負債は1,194億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億6千8百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産は3,803億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ320億9千万円増加しております。主な要因は、株主資本が159億9千8百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額が118億7千8百万円増加したこと等によるものです。株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、為替換算調整勘定が増加したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月31日に公表した平成30年3月期の連結業績予想数値を、以下の理由により修正いたしました。

主に日本や中国において、自動車用LEDヘッドランプが想定以上で推移した結果、売上高、利益共に前回発表の予想を上回る見込みです。なお、本日別途開示しました米国集団訴訟等の和解に関する訴訟損失引当金繰入額を特別損失として計上しております。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,840	120,235
受取手形及び売掛金	71,432	77,806
たな卸資産	28,574	31,867
繰延税金資産	2,542	1,909
その他	20,718	19,885
貸倒引当金	△14	△6
流動資産合計	225,093	251,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,760	62,010
機械装置及び運搬具（純額）	51,905	53,935
工具、器具及び備品（純額）	22,527	23,987
土地	13,054	15,075
リース資産（純額）	341	288
建設仮勘定	14,983	14,656
有形固定資産合計	164,572	169,954
無形固定資産		
のれん	121	64
その他	5,517	5,329
無形固定資産合計	5,639	5,394
投資その他の資産		
投資有価証券	58,557	68,644
繰延税金資産	2,014	2,076
その他	2,164	2,035
投資その他の資産合計	62,736	72,756
固定資産合計	232,949	248,105
資産合計	458,042	499,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,966	56,203
短期借入金	9,526	5,714
リース債務	133	128
未払法人税等	4,611	2,329
繰延税金負債	37	103
賞与引当金	3,595	2,220
役員賞与引当金	158	116
訴訟損失引当金	—	2,316
その他	16,509	20,823
流動負債合計	81,539	89,955
固定負債		
社債	10,000	10,000
リース債務	224	174
繰延税金負債	10,192	12,032
役員退職慰労引当金	55	33
退職給付に係る負債	6,282	5,585
資産除去債務	474	450
その他	1,032	1,239
固定負債合計	28,262	29,515
負債合計	109,802	119,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,878	29,878
利益剰余金	260,970	278,453
自己株式	△22,063	△23,548
株主資本合計	299,300	315,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,951	26,107
為替換算調整勘定	△2,895	3,635
退職給付に係る調整累計額	△492	△300
その他の包括利益累計額合計	17,564	29,442
新株予約権	325	377
非支配株主持分	31,050	35,212
純資産合計	348,240	380,331
負債純資産合計	458,042	499,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	283,879	327,150
売上原価	223,667	254,963
売上総利益	60,212	72,186
販売費及び一般管理費	31,373	34,047
営業利益	28,838	38,139
営業外収益		
受取利息	234	405
受取配当金	531	553
持分法による投資利益	1,196	1,644
受取ロイヤリティー	841	1,036
雑収入	430	495
営業外収益合計	3,234	4,134
営業外費用		
支払利息	129	100
為替差損	173	245
特別調査費用	241	177
支払補償費	—	129
雑損失	622	443
営業外費用合計	1,166	1,096
経常利益	30,906	41,177
特別利益		
固定資産売却益	26	103
投資有価証券売却益	38	—
特別利益合計	64	103
特別損失		
固定資産除却損	1,238	1,422
投資有価証券評価損	47	—
訴訟損失引当金繰入額	—	2,316
特別損失合計	1,286	3,739
税金等調整前四半期純利益	29,684	37,542
法人税等	7,249	7,999
四半期純利益	22,435	29,542
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,374	4,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,060	25,285

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	22,435	29,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,559	5,156
為替換算調整勘定	213	7,050
退職給付に係る調整額	3,609	191
持分法適用会社に対する持分相当額	189	897
その他の包括利益合計	7,571	13,295
四半期包括利益	30,006	42,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,850	37,163
非支配株主に係る四半期包括利益	3,155	5,675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	223,752	21,577	38,326	224	—	283,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	248	12,365	22,259	1,929	△ 36,802	—
計	224,000	33,942	60,585	2,154	△ 36,802	283,879
セグメント利益	17,762	4,448	4,718	24	1,883	28,838

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,883百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,332百万円、セグメント間取引消去4,299百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	265,545	22,647	38,866	91	—	327,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	323	13,301	33,913	1,869	△ 49,408	—
計	265,868	35,949	72,780	1,961	△ 49,408	327,150
セグメント利益	22,377	6,692	6,520	37	2,510	38,139

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2,510百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,422百万円、セグメント間取引消去4,988百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。